西粟倉小だより

令和５年８月２８日　NO．５
http://www.es-nishiawakura.jp/index.html

充実した２学期に！

今日は始業式の日。長かった夏休みが終わり、子どもたちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきます。猛暑であり、台風の大雨もありました。学校で子どもたちを迎えられることが何よりうれしいことです。そして、心も体も一回り成長したと感じる一日です。

２学期に頑張ってほしいことは、目標をもち、なりたい自分を目指すことです。「自分から」を大切にしてほしいということです。自分から興味を持って考えたり、挑戦したり、自分から心を配り周囲と関わり合ってほしいです。また、学習や行事にみんなで協力して、粘り強く一生懸命取り組むことが大切です。

教職員一同で、子どもたちが主体的に学校生活を送り、力を合わせて活動することで達成感、新しい学びを実感できるよう子どもたちと関わります。そして、原動力となる自己肯定感を引き出すこと、自分にはいいところがあるんだ、愛されているんだという実感が持てるような活動や関わりにも力を注ぎます。

これからもしばらくは、かなり暑い日が続き、熱中症への注意も必要です。とりわけ学期始めには、早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣を大切にし、学校生活のリズムに早く戻って、学習に取り組んでくれることを願っています。

子どもたちの安全と学習の機会の充実を進めていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

９月１０日（日）は合同運動会です。

８月２９日からは幼稚園・小学校・中学校合同の練習が始まります。まだまだ暑い日が続くため、熱中症の予防に努めて練習を重ねていきます。２週間という短い期間ですが、本番では子どもたちが練習の成果を力一杯発揮してくれることを願っています。６年生・５年生は西粟倉小学校のリーダーとして、下級生をしっかりリードして、活躍してくれることを期待しています。

本日、合同運動会のご案内（プログラム）を配布します。

当日は、ご家族おそろいでご観覧ください。

西粟倉小学校合同運動会スローガン

「村の人に　精一杯の笑顔と涙で　感動を」

■今月の紙面には、1学期の内容も掲載しています。

あいさつタッチの旅

7月11日(火)

1学期最後の全校音楽の時間です。9月24日（日）の村福祉大会での合唱発表の最後は、「あいさつタッチの旅がはじまる」を披露します。卒業生が歌詞を作り、恒例の曲でもあります。

6年生が曲に合わせたダンスを考え、それを教えてもらう時間です。

恒例の曲ですが、6年生が提案するのは初めてです。予めのアイディアに、その場でもう一つのアイディアが6年生の中から提案がありました。「こうした方がいいと思います！」すると、進める6年生が、「両方やってみて選ぼう！」と。

どっちがいいか、みんなで選びました。決まったダンスで、最後は、みどりの共和国の皆さんとハイタッチをして教室に。

「気持ちよかった！」と共和国の方が口々に。6年生がつくったこの雰囲気は、「ブラボー！素晴らしい」です。

やさいとなかよく

7月11日(火)

2年生は、栄養教諭の授業「やさいとなかよくなろう」にチャレンジです。給食で使われた食材を振り返ると、たくさんの種類が使われていることがわかります。野菜が苦手な人もあり、どうしたら、好き嫌いなく食べることができるか体験を通して学びます。

「ベジタ王」からの手紙が届きました。

「食べ残した野菜は、捨てられます。みんなに野菜を好きになってほしい。好き嫌いなく食べてほしい」そこで、みんなに野菜と仲良くなるためのクイズです。箱の中の野菜は何でしょう？

触った感覚でヒントを出します。「つるつるです」「やわらかいです」予想した野菜を口々に言ってみます。自分も見えないのですが、答えを言ってみます。正解が多かったですね。

「苦手でも食べてみる」「自分で育ててみる」「野菜で遊んでみる」図工で試した野菜のスタンプも出てきました。「好きな食べ物と一緒に食べる」こうした工夫や栄養や働きを意識していくことでしょう。みんないっぱい食べてね。

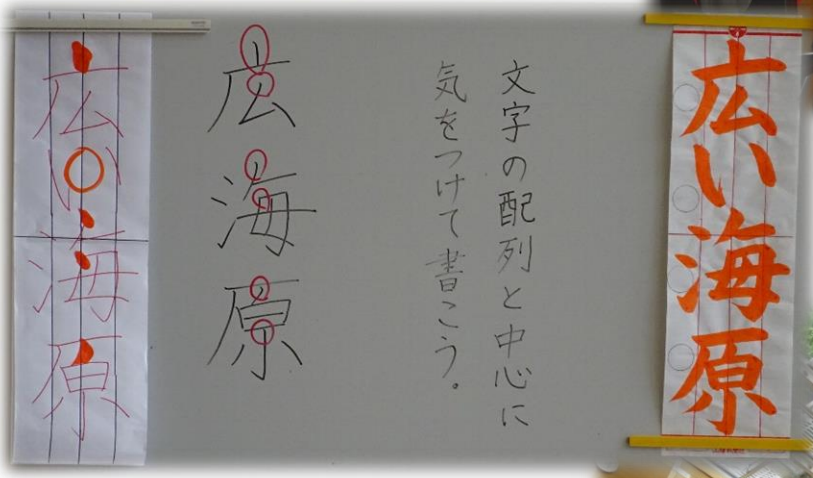
書写　6年

7 月14日（金）

広い海原。4つの文字の中で、文字の中心となるところを確認し、長半紙の中心に書くよう注意して書いています。

西元先生の授業です。

一つ一つの文字の形や、とめはね、はらい。筆の動かし方や力加減を調整しながら書き進めます。



意識しながら、注意しながら動作をする。様々な動作に共通することです。

意識して書く、書いた字を振り返って書く。こうした自分を調整しながら上達します。

静かに、集中した時間です。6年生らしいですね。

あわくらトイプロジェクト　6年　7月5日（木）

西栗倉村の木材でおもちゃをつくるプロジェクトのスタートです。現中学2年生が6年生の時にスタートし、4年目になります。西栗倉の木材を使い、ものづくりの「企画」を6年で、「製作」を中学で。木薫の國里さん、舟橋さん、役場と教育委員会のご協力での実現です。

「４ｍの板を持ちあげてみて」木の皮がついて水分を含む板の重みを感じます。「村の木を村の中で製材してくれるんだよ」

角材に切った表面を触り、ざらざらを確かめた後、１ミリ表面を削って触ってみると、「つるつる！」と反応が。

「角材の角は90度にする。90.5度だとなぜだめか。家具がゆがんでできあがる。いやじゃない？「直角」が大事なんだよ。」

ぴったり90度の角材を握ってみる。「どう？」「痛い！」と声が上がります。全員握って、大勢が痛いと感じました。

「ぴったり90度だけで終わらないんだよね」と角を落とすトリマーでの作業に続きます。

工程の目的、機材の役割、木の触感など直接体験していきました。

あわくらトイプロジェクト　6年

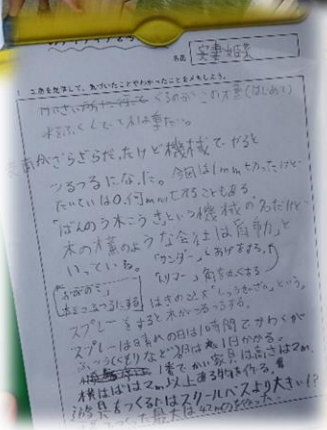
7月5日（木）

「木薫では、子ども向けの家具を作ることが多いんだよ」

6年生はとげが刺されば、自分で抜いたり、刺さったら言葉で言える。1才、2才の子は、ただひたすら痛いだけ。すごく皮膚がやわらかい分、とげも刺さりやすい。

「だれのために作るのか」子どもたちの今までの経験と大きく違う点です。

西粟倉の木が加工される中で変わっていくこと。相手意識、使う人を考えた作り手の視点を体感を通して学ぶ時間でした。



6年生は、熱心に見て、反応し、メモを取っていました。

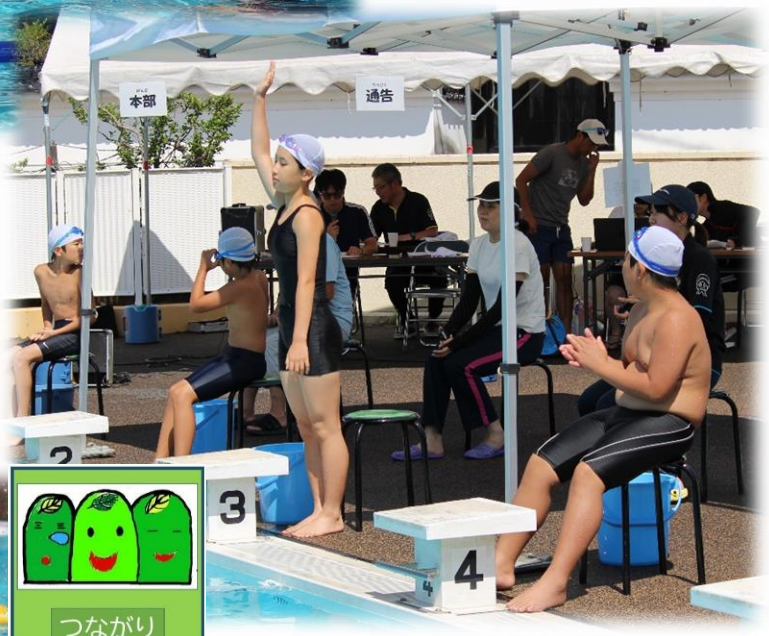
ものづくりから学ぶ。教科で学んだことも使います。村の自然と人から学び、良質な体験を積んでいく。その中で、育みたいのは、「自信　チャレンジ　つながり」の力です。

水泳記録会

7月26日(水)

今年から大原小学校との2校での水泳記録会に5・6年生が参加しました。

自由形、平泳ぎの種目に加えて、100m、200mリレーも行いました。



自己ベストの記録に挑戦したり、距離を泳ぎ切ることに挑戦したりと一人一人が目標めざして、緊張しながら泳ぎ切りました。

大きな声で声援したり、次に泳ぐ人とタッチをしたり、見ていて気持ちの良い大会でした。

本校の子どもたちは、総じてよく泳いでいます。１００m種目に多く出場していること、泳ぎはじめからのタイムの向上からもよくわかります。自信をつけ、次のチャレンジに向かうこと、期待しています。

校内がきれいに、安全に

休み中に学校の床や窓ガラスを業者の方にきれいにしていただきました。
日常は子どもたちときれいに大切に使います。

村事業としてSDGs、省電力のため、全ての照明がLEDへ、加えて空気循環器が設置されました。さらに、体育館の天井が耐震基準に合わせて改築、遊具が安全基準に合わせた場所移動や修繕を行っています。

見守り隊メンバー募集

見守り隊のみなさんには登下校の安全見守りにご協力いただいています。これまで長く引き継いでいただいていますが、ご都合により人数が少なく、従前通りのローテーションはできない状況です。子どもたちの安全･安心のため、保護者の方でご協力いただけませんでしょうか。問い合わせは教頭まで。